

ボランティアセミナー

趣旨 青少年教育施設でのボランティア活動について目的や内容を理解するとともに、意欲を行動につなげる具体的な手立てを学ぶ取得することで、ボランティア活動の実践力を身に付ける。

企画運営のポイント

1. 1泊2日の日程で、参加者同士で協力する活動を取り入れ、高校生と大学生間の交流を深めるようにした。
2. 先輩ボランティアやボランティア経験のある職員との交流の機会を設定し、ボランティア活動について具体的なイメージをもてるようにした。

期日 令和5年5月20日(土)～令和5年5月21日(日)

対象 高校生 大学生 社会人

人数 高校生17名 大学生23名 計40名

内容

5月20日(土)

- ① 講義 : ボランティア活動の意義
講師 非営利活動法人 ezorock 代表理事 草野 竹史 氏
- ② 講義・演習 : ボランティア活動の技術
講師 自然考房 Nature Designing 代表 鈴木 宏紀 氏
- ③ 講義 : 青少年教育の技術
講師 自然考房 Nature Designing 代表 鈴木 宏紀 氏

5月21日(日)

- ④ 講義・演習 : 安全管理
講師 日高西部消防組合富川消防署日高支署
- ⑤ 講義 : 青少年教育施設の現状と運営
講師 国立日高青少年自然の家 所長 山下 達也
- ⑥ 説明 : 青少年教育施設におけるボランティア活動
- ⑦ 説明 : 法人ボランティア制度について

参加者の声

- ・知らない人との関わりは苦手だが、活動を通して話せるようになったのは自分の成長にも繋がったと感じた。
- ・野外炊事やアイスブレイクなどたくさんを知り、体験することができた。
- ・アイスブレイクの技術を楽しく学び、特に話し手・聞き手・観察者に分かれてワークをした際、傾聴を意識しながら実践することができた。
- ・高校生や他大学の学生と交流ができとても楽しかったです。子供が好きなので子供の考え方を知ることができてとてもためになりました。また、野外炊事や救急救命法など普段経験できないことが学べてとてもためになりました。そして、私たちが楽しく学べるように講義をしていただき、ボランティアや子供たちと関わることに興味が湧きました。

【成果】

- ・事業アンケートにおいて「指導技術は高まったと思うか」の問いに対して、94.6%の参加者が「そう思う」または「ややそう思う」と回答するなど、ボランティア活動の目的や内容への理解を促すことができた。
- ・事業後に参加者全員がボランティア登録を行ったことから、ボランティア活動に対する関心が深まり、実際に活動に参加しようとする意欲を高めることができた。

【課題】

- ・講義や演習において、より参加者の活動意欲を高めるために、オンラインの併用により、日程の見直しを検討する。



ボランティアセミナー

2023年5月20日(土)10:00 ~ 翌 21日(日)16:30

国立日高青少年自然の家



“ボランティア”ってなに？

ここでは“青少年ボランティア活動”を指します。子どもたちの体験活動をサポートする大切な存在です。

“ボランティアセミナー”って何をやるの？

子どもたちと一緒に活動をするにあたり必要な知識や技術、活動場所の特性など、“事業を通して子どもたちも自分も一緒に成長するために必要なことを学ぶ機会です。



“ボランティアセミナー”には、誰が参加できるの？

“子どもたちとの活動に関心のある高校生以上”の方が参加できます。学生の皆さまも、一般の皆さまも、ふるってご参加ください！定員は40名です。

詳細なスケジュールや申込方法は、裏面をご覧ください →

